

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 7年 2月 12日

胎内市議会議長

八幡元弘様

(報告者) 厚生環境常任委員会
委員長 羽田野孝子

厚生環境常任委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 7年 2月 10日 至 令和 7年 2月 10日 泊 1日 (1日間)	調査・研修 場所	1. 特別養護老人ホーム とっさか ----- 2. 地域密着型特別養護老人ホーム りんどう
調査・研修 事項	1. 特別養護老人ホームとっさかの施設概要と現状について ----- 2. 地域密着型特別養護老人ホームりんどうの施設概要と現状について		
調査・研修 出席者(参加者)	議員：羽田野孝子 坂上 隆夫 渡辺 栄六 坂上 清一 渡辺 秀敏 ----- 森本 将司 笥 智也 増子 達也 ----- 市職員：金子千恵福祉介護課長 高橋知也議会事務局参事		
相手方(対応者)	とっさか 丹後徹施設長 伊藤孝紀相談課長 大熊澄子介護課長 ----- りんどう 須貝正則施設長 河内弓子事務員		

調査の結果または概要

「特別養護老人ホームとっさか」は社会福祉法人二王子会が1991年に開設、多床室が多く定員100人が入所できる施設で2月1日現在99人が入所していた。入所者は65歳から102歳の方で、85歳以上が70.7%、市内からの入所は80人、新発田市からは15人、県外と村上市が4人であった。職員は43人で対応しているが、職員不足でデイサービスとショートステイを休んでいる。待機者は50人、入居検討会で第三者に入ってもらって決めている。年に20から30人の入替がある。

「地域密着型特別養護老人ホームりんどう」は2015年4月に、社会福祉法人くろかわ福祉会が建設、定員29人。2022年9月にグループホーム黒川、定員9人が移転してきた。入所者29人は全室個室で、85歳から101歳が24人で82.7%であった。職員は25人で介護職員1人欠員。待機者は7人、入退所者の状況は1月平均1人。開設して9年10カ月になるので、機械浴槽などの故障が出始めているのが困りごとと聞いた。

調査の所見・感想

「特別養護老人ホームとっさか」は、3人から説明を受けた後、1階の施設を案内してもらった。廊下や食堂が広く笑顔で対応されている様子がうかがえられた。多床室が多く100人入所でき、市民から期待されている施設だが、職員不足で、デイサービス・ショートステイを休んでいるとのこと、やむを得ない事情とは言え残念に思った。

「地域密着型特別養護老人ホームりんどう」は、先に施設見学があった。開設から9年10カ月経過しているとのことだが、明るくきれいで家庭的な雰囲気が感じられた。入所定員29人と少なく経営上困難と伺った。食事は施設内で調理され温かい状態で提供されていた。

グループホームはショートステイの場所へ移転して業務を行っている。ショートステイの利用が困難にならないか気にかかった。